

魅力ある快適空間

JASDAQ

証券コード：2328

アーバンスクエアを創るアリサカ

平成17年3月期会社説明会資料

H17年(2005年)5月



株式会社アリサカ

<http://www.arisaka.net/home.html>

この資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略等に関する情報は、本資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で為した判断に基づくものです。しかしながら現実には、通常予測しえないような特別事情の発生または通常予測しえないような結果の発生等により、本資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。当社と致しましては、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めて参りますが、本資料記載の業績見通しのみ全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えにならないようお願い致します。なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複写複製、または転送等を行わないようお願いいたします。

コンテンツ

独立系アミューズメント施設の運営会社として
九州から西日本、そして全国へ

コンテンツ	P2	決算概要	
会社概要		貸借対照表	P17
会社概要	P4	損益計算書	P18
事業の沿革	P5	キャッシュフロー計算書	P19
事業内容		事業別売上高予実比較	P20
当期（H17年3月期）のハイライト	P7	H17年4月 月次売上状況	P21
年度別ゲーム市場の規模と店舗数	P8	有利子負債の状況	P22
業界順位（アミューズメント施設）	P9	整備投資、減価償却費の推移	P23
出店戦略	P10		
事業別店舗数推移と見込み	P11		
店舗の状況（平成17年3月現在）	P12		
業績の推移	P13		
積極的な利益還元	P14		
H18/3期業績予想	P15		



会社概要



会社概要

会社名	株式会社アリサカ 代表取締役 有坂 順三
設立	昭和51年10月9日
資本金	922,650千円
発行済株式数	4,265,600株
所在地	本社 宮崎市本郷北方2485-20
従業員	社員 104名 パート・アルバイト 559名 (平成17年3月末現在)

事業内容

- ゲーム施設の運営を主軸に、カラオケ、ボウリング、パッティング、スーパー銭湯等の各施設と他社テナントを含めた**複合アミューズメント施設**の運営



事業の沿革

- 昭和 53 年 ゲーム機械のレンタル業を開始
- 昭和 63 年 福岡市にゲーム・カラオケ店の直営1号店開設
以後、ゲーム店舗を増設
- 平成 4 年 バッティングセンターを事業に加える
- 平成 6 年 ボウリングセンターを事業に加える
- 平成 10 年 スーパー銭湯を事業に加える

あくまでゲーム事業が主力、他の事業部門はゲーム事業の集客目的として位置づけ

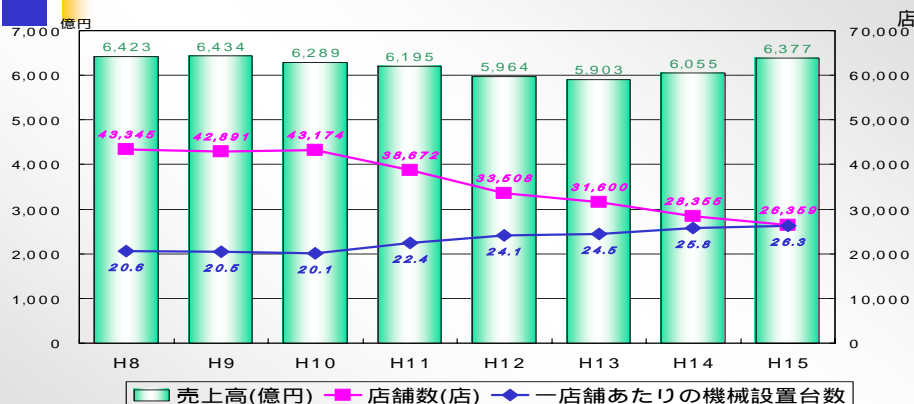


事業内容

当期(H17年3月期)のハイライト

- 出店
 - H16年4月 アーバンスクエア草津駅前店(滋賀県草津市)
 - H16年4月 ジョイプラザ新宮店(福岡県糟屋郡)
 - H16年6月 アーバンスクエア与次郎店(鹿児島県鹿児島市 - 共同店舗)
 - H16年10月 ジョイプラザ下妻店(茨城県下妻市)
 - H16年11月 アーバンスクエア津南店(三重県津市 - 共同店舗)
 - H16年12月 ジョイプラザ加古川店(兵庫県加古川市)
 - 共同店舗・・・共同事業者との歩率契約による店舗
- 退店
 - ドームイン日向店(宮崎県日向市)
 - アーバンスクエア行橋店(福岡県行橋市)
 - アーバンスクエア中央通店(宮崎県宮崎市)
 - アーバンスクエア心齋橋店(大阪府大阪市)
 - アーバンスクエアゴールドタワー宇多津店
 - アーバンスクエア西店・バッティングA1西店(宮崎県宮崎市)
- H16年7月 アーバンスクエア一番街店(宮崎県宮崎市)
リニューアルOPEN
- H16年5月 株式分割(1:1.2)を実施
- H16年11月 株式分割(1:1.2)を実施
- H17年3月 50万株の公募増資を実施

年度別ゲーム市場の規模と店舗数



- 店舗数は平成8年度の4万3,174店から平成15年度には2万6,359店に大幅減少
 - 1店舗で100台を超える大型店舗が増加し、店舗の大型化傾向に拍車
 - スクラップアンドビルドが加速
 - 企業間格差がますます広がる傾向
- 淘汰が進み企業数、店舗数ともに減少予想**

資料出典 アミューズメント産業界の実態調査報告書から(毎年9月下旬に発行)

業界順位（アミューズメント施設）

(単位:百万円)

順位	会社名	売上高	決算月	市場占有率
1	(株)セガ	69,860	3月	11.0%
2	(株)ナムコ	61,238	3月	9.6%
3	(株)タイトー	44,623	3月	7.0%
4	(株)イオン・ファンタジー	23,255	2月	3.6%
5	(株)ファンフィールド (旧ダイエーレジャーランド)	17,455	2月	2.7%
6	(株)アドアーズ(旧シグマ)	16,970	3月	2.7%
7	マイカルクリエイト	9,981	2月	1.6%
8	(株)ワイドレジャー	9,106	2月	1.4%
9	(株)アトラス	7,112	3月	1.1%
10	(株)プレビ	6,217	3月	1.0%
上位10社の合計		265,817		41.7%
12	(株)アリサカ	4,534	3月	0.7%

上位10社の内、5社はゲーム機器メーカー
3社は大手流通系の会社

(注)1. 上記売上高は、サービス業総合調査のアミューズメント施設のみの売上高であります。

2. 資料……………(平成16年11月付 日経MJ記載)。

3. 市場占有率…アミューズメント施設の市場売上高に対して算出しております。

(平成16年3月期637,700百万円…資料アミューズメント産業界の実態調査報告書)

出店戦略

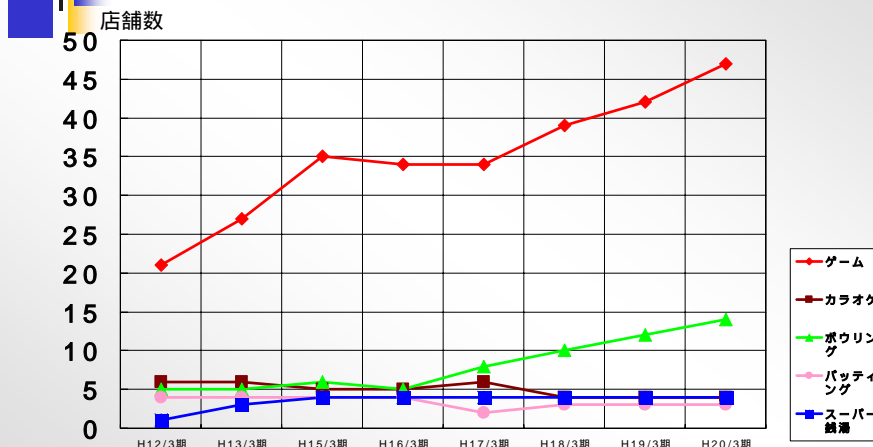
■ 出店方針

- 大型ゲーム単独店及びゲーム事業を主体にポウリング事業等の他事業との大型複合施設の開設を積極的に進める。
 - 年間6店舗前後の出店を計画
- 大都市圏への出店を推進
- 設備負担を抑えるため賃借方式による出店を基本とする
- SCへの出店も積極的に検討する
- 新規開設店については、積極的に資産の流動化を検討する。
- スクラップ&ビルドによる事業の効率化を図る
 - 小型店等の不効率店及び部門の閉鎖を実施

■ 投資回収年月

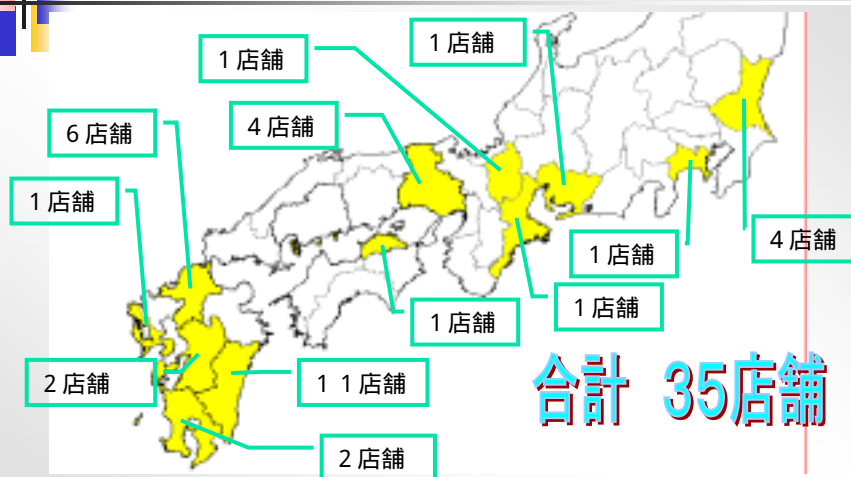
- ゲーム単独店…2年以内
- 複合店…4年以内

事業別店舗数推移と見込み



- H16年3月期から不効率店の積極的なスクラップを行う。
- 今後、不効率店のスクラップは年間1～2店舗を見込むが、17/3期でほぼ一巡している。

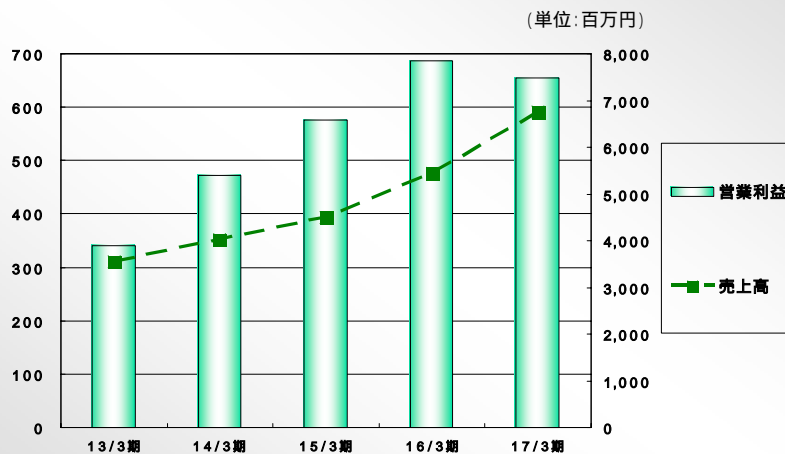
店舗の状況 (平成17年3月現在)



九州地区 複合店10店、単独店12店
九州外地区 複合店3店、単独店10店



業績の推移



積極的な利益還元

- | | |
|---------|-----------------------------|
| H14年10月 | 株式公開 |
| H15年9月 | 5円の上場記念中間増配発表(年間1株当たり配当25円) |
| H16年1月 | 株主優待制度新設の発表 |
| H16年5月 | 年間 1株当たり配当25円を決定 |
| H16年5月 | 株式分割を実施(年間 1株当たり配当25円を据置) |
| H16年11月 | 株式分割を実施(年間 1株当たり配当25円を据置) |
| H17年2月 | 17年3月末の株主に対し、5月増配を発表 |

H18/3期 業績予想

	H17/3期	H18/3期 予想	前期比
売上高	6,762百万円	8,100百万円	19.8%
営業利益	655百万円	752百万円	14.7%
経常利益	421百万円	481百万円	14.2%
当期純利益	91百万円	239百万円	159.1%
E P S	24.24円	56.05円	131.2%
R O E	4.1%	9.1%	122.0%
R O A	0.8%	1.9%	129.3%
自己資本比率	21.4%	21.2%	-0.9%
年間配当	30.00円	25.00円	-
配当性向	123.8%	44.5%	-64.1%

< 計画策定の前提条件 >

当期開設店の売上見込み + 1,565百万円

前年開設店の通年効果 + 469百万円

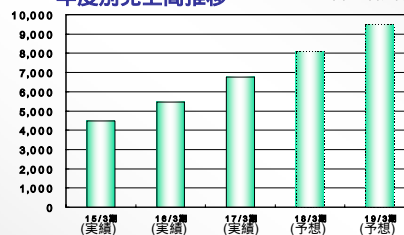
閉鎖店舗の売上減少 114百万円

既存店売上高の前期比計画 89.2%

(H17/3期実績93.6%)

年度別売上高推移

単位：百万円



決算概要

貸借対照表

(単位：千円、%)

	前期末 H 16/3月期	当期末 H 17/3月期	増減額	前期比		前期末 H 16/3月期	当期末 H 17/3月期	増減額	前期比
資産の部					負債の部				
流動資産	952,104	1,375,239	423,135	144.4	流動負債	2,965,756	3,312,627	346,870	111.7
固定資産	9,125,116	10,532,272	1,407,156	115.4	固定負債	5,170,532	6,052,639	882,107	117.1
有形固定資産	8,250,016	9,369,490	1,119,474	113.6	負債合計	8,136,289	9,365,267	1,228,977	115.1
無形固定資産	110,993	83,581	-27,412	75.3	資本の部				
投資その他の資産	764,106	1,079,200	315,094	141.2	資本金	635,150	922,650	287,500	145.3
繰延資産	13,600	11,720	-1,880	86.2	資本剰余金	632,910	920,070	287,160	145.4
					利益剰余金	679,506	705,899	26,393	103.9
					その他の有価証券 評価差額金	7,199	14,509	7,309	201.5
					自己株式	-235	-9,164	-8,929	-
					資本合計	1,954,531	2,553,965	599,434	130.7
資産合計	10,090,820	11,919,232	1,828,412	118.1	負債・資本合計	10,090,820	11,919,232	1,828,412	118.1
					1株当たり純資産額	747.57	600.15	-147.42	80.3

現金預金の増加 182百万円
売掛金の増加 97百万円

棚卸資産の増加 81百万円
前払費用の増加 62百万円

1年以内の長期借入金の増加
短期借入金の増加
未払金の増加
未払法人税等の減少

305百万円
47百万円
81百万円
109百万円

出店及び既存店のリニューアルその等による設備の増加
減価償却費及び除却等

2,192百万円
1,073百万円

長期借入金の増加
割賦債務の減少
無担保社債の減少

1,100百万円
157百万円
60百万円

M & Aによる営業権の償却額

27百万円

差入保証金・敷金の新規増加
閉鎖店舗の保証金、敷金の返却

382百万円
64百万円

公募増資による増加
未処分利益剰余金の増加

574百万円
26百万円

損益計算書

(単位：千円、%)

	前 期 末 H 1 6 / 3 期	当 期 末 H 1 7 / 3 期	前期比 (%)	H 1 7 / 3 期 計	H 1 7 / 3 期 画 計 画 比
売上高	5,451,060	6,762,171	124.1	6,800,000	99.4
売上原価	4,316,962	5,587,396	129.4	5,450,600	102.5
売上総利益	1,134,098	1,174,775	103.6	1,349,400	87.1
販売費及び 一般管理費	447,530	519,422	116.1	545,400	95.2
営業利益	686,568	655,352	95.5	804,000	81.5
営業外収益	97,933	111,256	113.6	88,400	125.9
営業外費用	291,871	345,259	118.3	325,400	106.1
経常利益	492,630	421,349	85.5	567,000	74.3
当期純利益	214,009	91,696	42.8	255,265	35.9

売上原価の内訳

仕入原価 425百万円
店舗原価 5,017百万円
機器除売却原価 144百万円

販売費及び一般管理費の内訳

人件費の増加 15百万円
その他、リース料、発送費、広告宣伝費、管理諸費、
旅費交通費等の増加 13百万円
租税公課の増加 13百万円
保険料、支払手数料の増加 21百万円

営業外収益の内訳

受取地代家賃の増加 10百万円
受取手数料の増加 5百万円

当期純利益の説明

不効率店舗の閉鎖及び宮崎市の一番街店の建物建替えに伴う既存設備の
除却損等 67百万円
店舗閉鎖費用 11百万円
老朽化した既存店舗設備及び稼働率の悪い機器の除却損等 172百万円

営業外費用の内訳

支払利息の増加 12百万円
その他営業外費用の増加 28百万円
受取地代家賃に対応する原価の増加 10百万円

キャッシュフロー計算書

単位：百万	前期	当期
	H16年3月31日現在	H17年3月31日現在
営業活動によるキャッシュ・フロー	989	998
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,491	2,211
財務活動によるキャッシュ・フロー	474	1,402
現金及び現金同等物の増加額	27	188
現金及び現金同等物の期首残高	441	414
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	414	602

税引前当期純利益	171百万円	非 資 金 費 用
法人税等の支払額	199百万円	
店舗閉鎖等による有形固定資産除却損等	239百万円	
減価償却費の	799百万円	

新規出店・既存店舗の改築・既存店の土地・建物取得等に伴う有形固定資産の資金使用	1,897百万円
敷金・差入保証金等の支出	383百万円

株式発行による収入の増加	565百万円
社債償還による減少	60百万円
長期借入金の増加	1,406百万円
設備等の割賦債務の減少	482百万円
配当金の支払	65百万円

事業別売上高予実比較

平成17年3月期 売上高比較

(単位：百万円、%)

事業別	前期 実績	当期 実績	実績比	計画	計画比	既存店 計画	既存店 実績	既存店 計画比
ゲーム事業	4,534	5,633	124.2	5,850	96.3	2,758	2,731	99.0
ホウリング事業	352	482	137.0	452	106.6	315	323	102.5
スパ-銭湯事業	273	250	91.6	252	99.4	252	250	99.4
カラオケ事業	96	83	86.7	90	92.7	81	77	94.6
パーティング事業	40	32	79.8	34	94.6	28	26	93.6
その他の事業	153	278	181.9	119	233.0	67	227	337.9
合計	5,451	6,762	124.1	6,800	99.4	3,503	3,636	103.8

その他の事業は、卓球、ビリヤード、飲食、機器売上等をいいます。

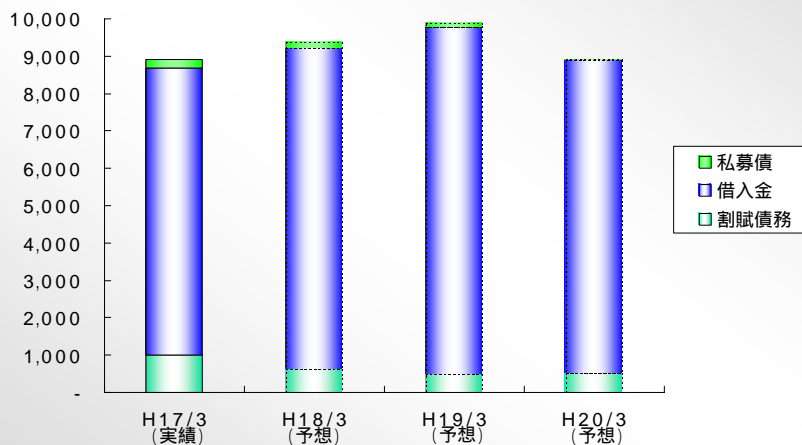
H17年4月 月次売上状況

	前年同月比								
	4月	5月	6月	第1四半期	7月	8月	9月	第2四半期	上半期
既存店舗	88.8%								
全店舗	108.4%								
店舗数	35店舗								

	前年同月比								
	4月	5月	6月	第1四半期	7月	8月	9月	第2四半期	上半期
ゲーム事業	89.6%								
加竹事業	81.8%								
ホウリング事業	101.1%								
ハッティング事業	111.0%								
銭湯事業	93.7%								
その他の事業	37.4%								

有利子負債の推移見込み

単位：百万円



設備投資、減価償却費の推移

